



宮城県東部保健福祉事務所 (宮城県石巻保健所) 復興支援ニュース Vol.3



平成23年9月

石巻専修大学、石巻地域を救う！



3月11日に発生した東日本大震災以降、石巻専修大学は**地域の災害拠点**として役割を果たしてきました。同大学は、地震当日から行き場をなくした住民などの避難所となり、次いで自衛隊のヘリポート・宿営地や災害ボランティアセンター、日本赤十字社の救護所も設置されました。また、被災した我々宮城県石巻合同庁舎の職員にも、体育館を仮事務所としてご提供いただきました。今回、石巻専修大学の坂田学長に話を伺いました。



社 会に対する報恩奉仕の精神で

震災後、大学は最大で約1,200人を抱える避難所になった。地震発生時、私は出張中のため不在だったが、大学に残った職員と電話でのやりとり、報告・判断・指示で、対応を進めてきた。この大学は地元地域からの支援もあって建学したものであり、教職員も皆、建学の精神を覚えている。教職員・学生が『私学の魂』で、快く地域に貢献、活動できたと思う。また、学生の授業に大きな影響与えてしまうことを覚悟しながらも、**県民の利益を最大限に考慮**し、宮城県石巻合同庁舎仮事務所として施設を提供した。

地 域が明るくなることをやろう！

被災地の最前線で活動する大学が地域復興のセンターとなり、地域とともに復興を目指すため、『復興共生プロジェクト』をスタートさせた。ボランティアツーリズムの研究や津波で被災した自動車の研究など、被災地域独自の研究も行う。また、水産加工施設の技術支援なども行っている。このプロジェクトでは調査の過程で学生もフィールドに出て、現場で学ぶことができる。この大学は**地域に密着した大学**であり、石巻圏域が明るくならないと大学も明るくならないのだ。

石 巻地域との共生：地域に開かれた大学を目指して

『共生（ともに生きる）』がキーワード。大学は、図書館を地域の方々に開放したり、地域の復興対策に協力しているところ。今後は、災害対策拠点としての機能強化も検討している。石巻専修大学は、大学としての長期的で幅広い視点を持ちつつ、また『靴の中の石ころ』のような存在として地域の発展に貢献していきたい。そして、『**学生の元気**』を地域に吸い取ってもらえればありがたい。

坂田学長は、家族から贈られた自転車（ロードバイク）で、石巻の『今』を感じながら通勤している。町を歩いていて、地域の方から『私、大学に避難していたんです』、『祖母がお世話になりました』などとお礼を言われることがある。非常に嬉しいことだと語る。

石巻専修大学学長

プロフィール

名前
出身
経歴

さかた たかし
坂田 隆
愛知県名古屋市
東北大学大学院農学研究科博士
後期課程修了（農学博士）。海外の大学や民間会社の研究員、石巻専修大学設置準備事務局、石巻専修大学理工学部助教授、同教授、同理工学部長を経て、平成19年より石巻専修大学学長に就任。
専門 比較栄養生理学



石巻地域復興へ一言

『早期のJR線復活を望む！』

聴き上手ボランティア



8月24日、女川町主催で『聴き上手ボランティア養成研修会』が開催されました。研修会では、震災による様々なストレスや不安を抱えながら生活している方々の『話し相手がほしい』『不安や寂しさを誰かに聴いてほしい』と思う気持ちに寄り添い、受け止めて聴くことを学ぶことになっており、全5回の研修会が予定されています。



女川町保健センターで開催されたこの研修会は、講師に国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター長の大野裕氏、田島美幸氏及び宮城県精神保健福祉センター職員を招き、同町内から15名程のボランティア希望の方々が参加。第1回目は、参加者が自分のことを相手に知ってもらったり、互いに紹介しあうといったロールプレイが行われました。

避難所における栄養調査

宮城県では、4月より毎月1回『避難所における食事状況・栄養関連ニーズ調査』を実施しています。



・調査件数（7月）

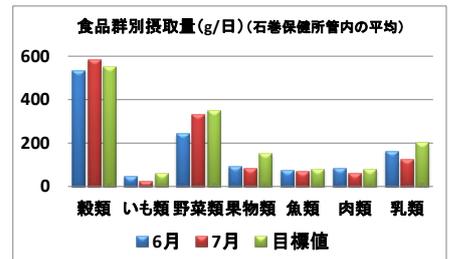
石巻市14カ所、東松島市1カ所、女川町2カ所

・調査項目

エネルギー、タンパク質、ビタミンB1・B2、ビタミンC、塩分

(7月)	石巻市	東松島市	女川町	参照量
エネルギー	1969	1718	2054	1800~2000kcal
たんぱく質	59.0	55.6	66.8	55g以上
脂質	52.6	44.0	48.6	45~55g
ビタミンB1	0.67	0.59	0.87	0.9mg以上
ビタミンB2	0.77	0.70	1.11	1.0mg以上
ビタミンC	55.3	37.2	48.5	80mg以上
塩分	9.3	6.8	11.1	男性9g未満、女性7.5g未満

野菜類や果物類は不足がちな状況にありますので、食事の時にはできるだけ食べることをお勧めします。お弁当の他に、**野菜サラダ・野菜ジュース・果物などを加えると**、不足がちなビタミン・ミネラルが取れ、栄養のバランスが良くなります。



事務所移転のお知らせ

9月26日より、東部保健福祉事務所（石巻保健所）は、以前の宮城県石巻合同庁舎（石巻市東中里1-4-32）で業務を再開します。窓口は各担当班すべて合同庁舎の2階になりますので、ご注意の上、お越しく下さい。



避難所・仮設住宅情報



避難所・避難者数及び仮設住宅建設状況（9月14日現在）

	避難所数	避難者数	仮設住宅着工済戸数	左記のうち完成戸数
石巻市	50カ所	1,436人	7,297戸	6,359戸
東松島市	0カ所	0人	1,753戸	1,753戸
女川町	6カ所	256人	1,294戸	1,057戸

問い合わせ先

宮城県東部保健福祉事務所
企画総務班 企画調整グループ
H P: <http://www.pref.miyagi.jp/et-hc/>
Tel: 0225-95-1416(代表)
Fax: 0225-94-8982

編集後記

編集担当の佐々木、大崎、佐藤です。いよいよ以前の合同庁舎に戻るになりました。お世話になった石巻専修大学の思い出を胸に、より一層業務に励んでいきたいと思えます。ご意見、ご要望、情報など、ぜひ左記までお寄せください(^_^)。